※令和４年度以降入学生用

学校番号	1204

令和５年度　国際教養科

教科	国際教養	科目	日本語Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本語で読む、書く、聞く、話す４技能を用いて、コミュニケーションを積極的に行うことで、高校生活で必要な日本語の定着を図る。
・進路実現のために必要な日本語力を身に着け、進路の幅を広げる。
・新聞やニュース等を視聴覚教材に用いて、日本だけでなく世界の情勢や文化の理解を深める。また、自己の思考を深め表現する力を養う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・高校生活で必要な基本的な日本語の定着を目指す。また、日本語特有の表現を身につけ、使うことができる。日本語能力試験に合格できる「読む」「書く」「聞く」「話す」力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
・日本語で考えて表現することができる。また、日本語特有の表現を使ってディスカッション等の言語活動を行い、意見を述べ、日本語文法に注意して作文を書く力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・学習した日本語を積極的に使い、進路実現に結び付けようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・基礎的な文法、語彙、言語知識を身につけ、表現することができる。	・日本語で文を作り表現することできる。 ・日本語で自分の意見を述べ発表できる。 ・学習した文法を使って質問や答えることができる。 ・動詞や形容詞のフォームにあった作文ができる。（時制の一致など）	・読む、話す、聞く、書く、４技能の言語活動の習得の過程で、実用的な言語コミュニケーションを主体的にとろうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	基礎語彙	カタカナ 数の呼び方 名詞・ 形容詞・イ形容詞ナ形詞 動詞・マス形・辞書形	a:カタカナ・ひらがなが書ける。 b:日本語で自己紹介や簡単な文型を使うことができる。 c:簡単な文型でコミュニケーションを取ることができる。 c:簡単な文章で表現できる。	確認 テスト 自主教材 プリント	確認 テスト 作文	主観的な態度 ディクテーション プリントの記述 発表・音読
	語彙・文法・読解	～は～です います・あります 動詞・マス形・辞書形・ ・ナイ形・テ形・タ形	a:動詞のフォーム、学習漢字の定着。 b:動詞のフォームを使って表現できる。 c:言語活動初級日本語（書く・聞く・話す・読む）ができる。	確認 テスト 自主教材 プリント	確認 テスト 作文	主観的な態度 ディクテーション プリントの記述 発表・音読
2学期	語彙・文法	文型　ナイ形	a:動詞のフォーム、漢字の定着。 b:動詞のフォームを使って表現できる。 c:言語活動初級日本語文型を使って（書く・聞く・話す・読む）ができる。	確認 テスト 自主教材 プリント	確認 テスト 作文	主観的な態度 ディクテーション プリントの記述 発表・音読
	語彙・文法・読解	文型　テ形	a:漢字・語彙（意味）の定着。 b:動詞のフォームを使って表現できる。 c:言語活動初級日本語（書く・聞く・話す・読む）ができる。	確認 テスト 自主教材 プリント	確認 テスト 作文	主観的な態度 ディクテーション プリントの記述 発表・音読
3学期	語彙・文法・読解	文型　タ形	a:漢字、語彙（意味）の定着。 b:動詞のフォームを使って表現できる。 c:言語活動初級日本語（書く・聞く・話す・読む）ができる。	確認 テスト 自主教材 プリント	確認 テスト 作文	主観的な態度 ディクテーション プリントの記述 発表・音読

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度